



ロータリーは機会の扉を開く

2020～21年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2020～2021)

会 長/白 木 久 雄

幹 事/青 木 史 仁

会報委員長/大 塚 和 助

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2646

第2777回 令和2年10月28日(曇り)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 寺尾敏夫様

11月4日(水)：ゲストスピーチ 白木 大介様 生活介護事業所みなとがわ

11月11日(水)：美化ゾーン野外例会

【会長挨拶】白木久雄会長

- ・皆さんこんにちは。本日のゲストスピーカーは樋口真吉顕彰会の寺尾敏夫様です。後ほどよろしくお願いします。
- ・ビジターの紹介です。四万十ロータリークラブの山脇会長、遠近会長エレクト、50周年実行委員長の上岡様です。来年の50周年を迎えるにあたってのPRに来て頂きました。

【ご挨拶】遠近 会長エレクト(四万十RC)

皆さんこんにちは。来期の会長を務めさせて頂きます。会長は3回目です。

当クラブは1971年、24名のチャーターメンバーで中村南ロータリークラブとして創立しました。以前は50数名いましたが、現在は15名の会員数で頑張っています。内容につきましては協議中ですがコロナの影響もありますので派手な式典はできないと考えています。

上岡 50周年実行委員長(四万十RC)

皆さんこんにちは。来年の50周年という節目の実行委員長を務めさせて頂きます。中村クラブ様には常日頃、大変お世話になっておりますが、何卒ご協力賜りますようお願いいたします。

【幹事報告】青木史仁幹事

- ・国際ロータリー 財団より2019～2020年度財団への寄付における認証バナーと感謝状
- ・ガバナー事務所より
パストガバナー須之内淳二様(松山西)が9月23日ご逝去されました(享年89歳)
- ・香長RCより事務局所在地変更のお知らせ
- ・中村地区区長会より第23回犬のフン害防止運動報告書 拝受
- ・四万十川自然再生協議会より四万十の水辺八十八カ所めぐりバスツアー参加者募集のご案内 11/14(土)8時 中村河川国道事務所集合
- ・岡本友章氏世界ソフトボール連盟殿堂入り記念事業実行委員会より記念祝賀会のご案内 11/21(土)

【委員会・会員発言】

■東 邦彦ガバナーエレクト

今朝ほど国際ロータリー事務局より、アメリカでのガバナーエレクトの国際協議会は現地開催を中止とし、オンラインで行うこととなりました。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 寺尾敏夫様



■軽んじられている幡多の歴史

樋口真吉顕彰会の寺尾敏夫と申します。

昨年4月偶然市民病院の待合所で県教育委員会編の「中高生が学ぶふるさと高知の歴史」という教科書を見つけました。読んでみたら驚きの記述がありました。私自身は70歳過ぎまで樋口真吉を知らなかったのですが、教わったことが無かったからです。歴史を教えない国家は滅びるという言葉思い出しながら、子供の教育に最も大事な歴史教科書の不備は看過できない思いを新たにしました。まず感じたことは「幡多の歴史が軽んじられている」と実感しました。早速制作した高知県教育委員会と教育長宛てに7項目について問題点等を指摘した手紙を提出したのが今年の5月末日でした。

- 1) 幡多に流罪になった法然上人が東洋町甲浦に上陸したとの記述は誤り。
- 2) 土御門上皇の配流地が四万十市蕨岡であった記述は評価していい。(問題点でない)
- 3) 藩校の記述に中村文武館が漏れているがこの藩校の果たした役割を考えると大問題。
- 4) 戊辰戦争時、迅衝隊に幡多から100余名の参加者があるのに説明が不十分。
- 5) 江戸時代のマップに幡多地域の記載が何も無いのは初歩的ミスで大問題。
- 6) 樋口真吉についての記述が十分でない。
- 7) 幕末維新にかけて大活躍した医師達について何の記述も無いのは研究不足。

幡多の住民である私としては不満の多い教科書になっていました。

執筆者は現役の社会科の先生方で、歴史家ではありません。つまり歴史の教科書を長年教えてきた専門家なのです。しかし残念ながら歴史家ではない故に、歴史の本質を踏まえた記述になっていないのです。県教委としては9名の執筆者と12名の編集委員を選考し、土佐史談会の会長を監修者にして万全の体制で作ったはずです。この教科書は少なくとも高知県の中高生のためにわざわざ編纂した歴史教科の副読本です。

この問題提起以来4カ月ほど何の返事も貰えませんでした。そこで土森県議に依頼して昨年9月県議会で質問してもらった途端県教委から私宛に電話がありました。9月27日の県議会で教育長が将来的に改定に取り組むと答弁しました。

つい最近、県教委から新しい改定版の教科書が送付されてきましたが、指摘したことは一文字も改定されていませんでした。今県下の各学校に内容の疑問点の有無を聞いているそうです。この調子だと私が指摘した力所の改定が実現するのには10年以上かかりそうです。その間に子供達はこの間違いを知らないまま卒業していきそうです。

子供たちが主役のはずなのに、教科書を創る仕組みがおかしいのか、1年経って何の改定もできていません。同時に幡多に住む我々自身が幡多の歴史を良く知らない故に、明らかに幡多の歴史が軽んじられていても、誰も幡多から文句を言ってこなかった結果ではないのでしょうか？

樋口真吉に限らず、幡多の多くの偉人たちの情報をもっと発掘し、発信していくことが重要だと感じている次第です。ご賛同頂ければ大変嬉しです。ご静聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

山脇寿旦様(四万十RC)：四万十クラブの50周年をよろしくお祈いします。

遠近良明様(四万十RC)：今日は貴重な時間をありがとうございました。

上岡太郎様(四万十RC)：四万十ロータリークラブ、50周年の際にはよろしくお祈いします。

白木会長：ゲストスピーチありがとうございました。

青木幹事：四万十クラブの山脇会長、遠近さん、上岡さんいらっしゃいませ。ゲストの寺尾さんようこそ！

先週の例会を事もあろうに幹事の立場で忘れるという大失態をして申し訳ありませんでした。

大杉(幹)会員：本日の例会で時間を取って頂きありがとうございました。寺尾様スピーチご苦労様でした。

稲田会員：先日は幡多3クラブ合同例会、米山奨学生卓話に宿毛までご出席ありがとうございました。

一藤さん、バスの運転手ありがとうございました。奨学金ご寄付もよろしくお祈いします。

【出席報告】・会員総数54名(免除会員6名)

・本日の出席/34名 75.56%

・先週の訂正

MU8 70.45%→88.64%